

# シリーズ ひと



むらさき ゆうこ  
**村沢 裕子さん**

新白岡在住。ピアニスト。ARMONIA MUSICA（アルモニウムジカ）代表。平成17年から、春日部市の精神障害者通所授産施設内の喫茶店でボランティア・コンサートを開いている。

## 「演奏者と観客の心の交流、

### 一体感が魅力です」

村沢さんがボランティア・コンサートを開催したきっかけは、友人の娘さんが、ふとしたことから心の病を患ったため、施設内の喫茶店での演奏を思いついた。「院長先生が自費で建てた喫茶店ですが、精神障害のかたが働く施設ということで周囲の反対運動があり、建設まで何年もかかりました。だからコンサートを開いて周辺の皆さんにも来ていただき、施設が特別なところではないということをお話してほしかったんです。」と思いを語ってくれた。

今までに12回開催され、新聞にも掲載され（平成18年12月13日付朝日新聞）定着してきたコンサートであるが、これまでにはたいへんな苦労があった。ボランティアという事で出演依頼を次々と断られ、時にはひどくしかられることもあったという。そこで、いっそのこと日本一のかたに頼んでみたらどうかと、NHK交響楽団首席奏者・チェリスト・藤森亮一氏に依頼したところ思いもよらず快諾してくださり、その後、



日本若手トップのオーボエ奏者宮村和宏氏など超一流の演奏者が集まり春日部でのコンサートが軌道に乗った。

そんなコンサートでのエピソードを尋ねると、「藤森さんの演奏後に、目の見えない観客が『この美しい音色を出す楽器がどのようなものか触ってもいいですか。』と質問したことがあったんです。藤森さんは優しく手を取って触れさせ丁寧に説明してくれましたが、そのチェロは2億円もするもので、普通であれば他人に触れさせることなど考えられないんです。」と当時の感動を話してくれました。

現在、共演者とともに、日本超一流の演奏家による室内楽団、アルモニウム・ムジカを結成し、音楽にリボンをかけて届けようという主旨のもと演奏活動を展開している。「しがらみやプライドなどがあり、ほかの楽団の人たちと組んでアンサンブルチームを続けることはまれなんです。ボランティアだからこそ実現したのだと思います。演奏者の気持ちの一つにして、観客に音楽を通じて幸せを届けよう」と演奏すると、観客もその感動を演奏者に返してくれる。この交流が魅力です。それがなければCDを流しておくのといっしょです。」と語ってくれた。

信頼厚い伴奏者兼演奏者たちの母親的役割の村沢さんに目標を尋ねると、「カーネギーホールで世界の子どもたちに向けてボランティア・コンサートを開くことです。地球を救うのは、母の愛です。」と熱く夢を語ってくれた。



「カメラ大好き！」

さかまき のどか  
**坂巻 和ちゃん(1歳)**



弟をだっこして  
「おもくなったね」

こうだ まりか  
**甲田 茉莉花ちゃん(4歳)**  
ゆうしん  
**悠訊くん(7か月)**



「おすわりできるようになったよ♪」

かとう たいと  
**加藤 瑛斗くん(7か月)**



### お子さんの写真を募集しています

氏名（保護者とお子さん）・生年月日・住所・電話番号・写真にコメントを添えて、直接または、封書で郵送してください。年齢については、2月1日現在で掲載しています。

投稿先 〒349-0292 白岡町大字千駄野432 白岡町町民活動推進課広聴広報担当  
☎(92)1111 内線352